

令和8年度下水道推進工法標準設計資料策定業務委託 特記仕様書

1. 作業の内容について

下水道推進工法の内、下記の作業内容により令和8年度の下水道河川局で統一している標準工法の決定を行うものである。

① 資料収集

小口径管推進工法の資料（カタログ、設計資料、積算資料および施工実績等。以下、協会資料）を収集するとともに、各（高耐荷力、低耐荷力、鋼製さや管）方式のほか、中大口径推進工法、及び立坑工法区分での整理を行い提出する。なお、協会資料は見積として扱うため、有効期限を記載すること。前年度実績より資料収集対象は、約124工法、約59協会を想定している。

② 市場調査

標準工法の決定は、岡山県内の施工実績や岡山県内のマシン所有状況を十分に調査して決定する。調査方法は、電話による聞き取り調査だけでなく、書面による問い合わせおよび回答をもって対処する。前年度実績より調査対象は、24協会（低耐荷力9協会、鋼製さや管17協会）を想定している。

③ 標準工法の決定（低耐荷力推進工法）

本管径φ150、φ200及びφ250について経済比較を行い、市の標準工法を決定する。ただし、積算歩掛は原則、「下水道用設計標準歩掛表」によるものとし、比較対象工法は、工法協会より技術資料・積算資料を発行している工法、または一般財団法人建設物価調査会並びに一般財団法人経済調査会が発行する「推進工事用機械器具等基礎価格表」に記載されているもののうち、「下水道用設計標準歩掛表」の適用が可能な工法とする。なお、前年度業務の電子データについては貸与する。また、現段階では、前年度実績より圧入二工程式の4工法を抽出して経済比較を行うことを想定している。

④ 標準工法の決定（鋼製さや管方式推進工法）

本管径φ150、及びφ200について経済比較を行い、市の標準工法を決定する。比較対象工法は、工法協会より技術資料・積算資料を発行している工法、または一般財団法人建設物価調査会並びに一般財団法人経済調査会が発行する「推進工事用機械器具等基礎価格表」に記載されている工法とする。なお、前年度業務の電子データについては貸与する。また、現段階では、前年度実績より5工法を抽出して経済比較を行うことを想定している。また、発進立坑はケーシングφ1.5m及びφ2.0mの場合を対象とし、それぞれのケースを想定した鋼管長、日進量等での比較を行う。

⑤ 協会資料の電子化

「① 資料収集」にて収集した協会資料を電子化すること。

⑥ 協議

上記作業を進行するにあたり必要となる協議等を行う。

⑦ 照査

上記作業の妥当性の照査を行う。

2. 成果品及び納期

① 成果品

- | | |
|-------------------------------------|-----|
| ・原稿（Microsoft-Office で入力、提出媒体 CD-R） | 1 部 |
| ・原稿 1 式 | 1 部 |
| ・収集資料 1 式 | 1 部 |
| ・収集資料 1 式（提出媒体 CD-R） | 1 部 |
| ・その他資料（打合せ議事録等） | 1 部 |

② 履行期限

令和 8 年 1 2 月 2 8 日（月）